

高等学校 令和7年度 教科

水産 科目 海洋環境

教科：水産 科目：海洋環境 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（組：橋本啓（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（海洋環境（海文堂出版））

教科 水産 の目標：

【知識及び技能】海洋や海洋環境管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】水産や海洋環境に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋環境 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
海洋や海洋環境管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	科学的な視点で海洋や海洋環境に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	海洋環境管理や海洋関連産業の充実を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 海洋環境管理 【知識及び技術】 海洋や陸水における環境管理の基礎的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋や陸水における環境管理に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋や陸水の環境の望ましい管理や保全、調査を通してよりよい社会の構築を目指して自ら学び、持続可能で発展的な水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 海洋環境管理の概要 第2節 海洋環境の保全 第3節 陸水環境の保全 第4節 海洋環境等関連法規 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 海洋や陸水における環境管理の基礎的な内容について理解している。 【思考・判断・表現】 海洋や陸水における環境管理に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海洋や陸水の環境の望ましい管理や保全、調査を通してよりよい社会の構築を目指して自ら学び、持続可能で発展的な水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	第2章 資源増殖と環境保全 【知識及び技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 水産生物と環境要因 第2節 環境保全型養殖 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等	水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
2 学 期	定期考査			○	○		1
	第3章 資源増殖と環境保全 【知識及び技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 水産生物と環境要因 第2節 環境保全型養殖 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等	水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第4章 海洋工事と環境保全 【知識及び技術】 水産や海洋と人間生活の関わりについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋について展望するとともに関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 水産や海洋と人間生活について自ら学び、水産や海洋が人間生活に果たす役割について主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1節 漁場造成技術 第2節 ウォータフロント開発 第3節 環境改善技術 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技術】 海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境管理に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋と環境の管理について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
							合計
							70